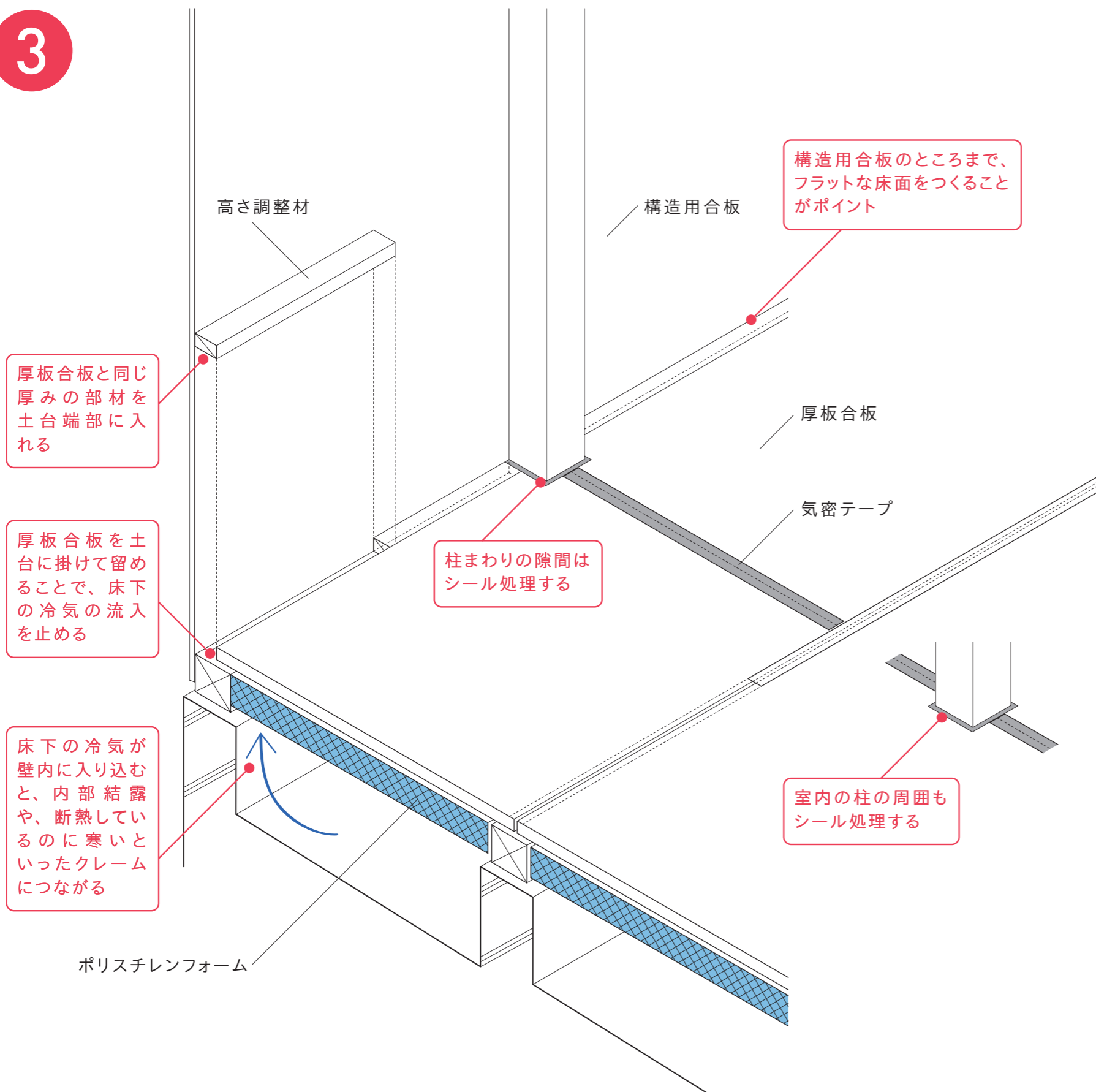


3



- ・厚板合板を土台に掛けて留めることで、床下からの冷気の流入を止め、壁内結露を防ぐ。
- ・床中央部の厚板合板は大引きのある部分で継ぎ、上から気密テープを張り、床下からの冷気の流入を防ぐ。
- ・土台の端部は、柱間に厚板合板と同じ厚みの高さ調整材を入れ、壁の構造用合板面までフラットな床面をつくる。
- ・間仕切りは床合板を張った上から施工する。
- ・柱まわりの合板の隙間は床下の冷気の流入口となるため、コーキング材もしくは発泡ウレタンでシール処理する。室内の柱の周囲も忘れずにシール処理する。

断熱・気密ナビ(dankinavi.jp)に掲載のテキスト・図版などの著作権は、その著者・制作者およびYKK APに帰属します。無断での転用・転載は禁止させていただきます。同サイトで掲載している納まりは参考図です。この納まりに基づいた施工によって生じた不具合または損害などについては、一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。同サイトにおいて提供する情報は、2017年10月現在の情報に基づいた参考情報であり、具体的な法的または技術的アドバイスを提供するものではありません。

【参考文献】国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修『温暖地板 自立循環型住宅へのガイドライン』一般社団法人建築環境・省エネルギー機構、2015年
省エネ講習会資料作成WG監修『住宅省エネルギー技術施工技術者講習テキスト(施工版)平成28年省エネルギー基準対応』木を活かす建築推進協議会、2016年
『断熱工法について 天井の断熱施工(桁上断熱)』ガラス繊維協会ウェブサイト